

平成29年度第1回 下野市地域公共交通会議 会議録

	平成29年6月21日(水) 午前10時00分～午前11時10分
開催場所	下野市役所2階 203会議室
出席者	長田哲平、山田博、山本隆、小口英明、大島将良、稲見郁夫、高瀬和子、関口達也(代)、伊勢典浩(代)、根岸章浩(代)、塩田和也、等々力道也(代)、荒川弘幸、小矢島応行、鉢村俊雄
欠席者	小貫真人、渡邊欣宥、大垣浩二、川中子伸之
傍聴者	なし

次第

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 会長・副会長の選任
5. 会長あいさつ
6. 議題
 - (1)平成28年度 デマンドバス利用状況等について
 - ①利用状況
 - ②運行状況
 - (2)地域公共交通確保維持改善事業について
 - (3)その他
7. 閉会

○開会

- (事務局) 欠席者の報告
- 委嘱状交付 代表して、宇都宮大学長田氏へ委嘱状を交付。
(板橋副市長より長田委員へ委嘱状を交付)
- (副市長) 板橋副市長より挨拶

下野市では、公共交通空白地域の解消のため、平成23年11月からデマンド交通を実施してまいりました。デマンドバスの利用者も年々増加しており、約75パーセントが70歳以上の高齢者となっております。

昨今、高齢者の事故が増加しています。これは、加害者にも被害者にもなりえる状況であり、今後免許証返納が多くなっていくと考えられます。また、高齢者に外出していただくため、地域公共交通を拡充していき、高齢者がより多くの皆様と交流の機会をもつていただけるよう進めていきたいと考えております。将来的には栃木市のようにコミュニティ

ーバスの導入も検討していく必要があると考えております。

昨年度は、効率的で持続可能な地域公共交通体制の構築を目指して行くため、運行時間・運行日の変更、市民誰もが利用しやすいデマンドバスを目指した子育て世帯外出支援事業の開始、高齢者外出支援事業の拡充を実施いたしました。

また、今年度から高齢者の運転免許証の自主返納を推進するため、支援内容を拡充し、運転経歴証明書交付手数料支援が始まったところです。高齢化が進行していく中で、高齢者等交通弱者のための日常生活の“足”としてデマンドバスの維持・充実を図る必要があります。

平成 29 年度は、デマンドバスの課題の整理をさせていただき、検討していくことになっていると、報告を受けております。

現行車両はワゴンタイプ 10 人乗りを 3 台導入し運行しています。

この車両は、平成 23 年度に国土交通省の補助を受けて導入しましたが、今年度中に耐用年数である 6 年を経過することから、今後の車両について検討する必要があると考えております。

また、市民からも色々な課題や要望が出ていますので、市としては、それらの意見を検討し、取り入れながら、より良い公共交通体制の整備を図って行きたいと考えております。

委員の皆様には多くの苦勞をおかけするかとは思いますが、デマンドシステムの在り方、新しい形を見出し、市民の皆様にも愛されるデマンドバスの運行を検討してほしいと思います。

交通弱者などが移動しやすい環境の整備を進め、さらなる施策の推進を図る必要があると考えておりますので、地域公共交通会議委員の皆様には大変お世話になりますが、ご協力をお願い申し上げます。

<副市長退席>

(事務局) ○職員自己紹介

<会長副会長選任>

(市民生活部長) 下野市地域公共交通会議条例、第 5 条第 2 項により、会長・副会長は、委員の互選により定めるものとなっています。

会長・副会長の選任について、委員のご意見を伺いたい。

いかがしたらよろしいでしょうか。

(委員) 前回の方法が良いのでは。前回はどのような方法だったのか？

(事務局) 前回事務局案を示し、それに同意をいただいた。

(委員) では、それでいいと思います。

(市民生活部長) それでは事務局の案ということで進めさせていただきます。

(事務局) 下野市地域公共交通会議については、平成 26 年度から、長田先生にお世話になっています。事業の継続性を考慮し、引き続き会長を長田先生にお願いしたい。

また、副会長は、昨年までは下野市社会福祉協議会 蓬田 事務局長にお願いしていた。人事異動により事務局長になられた小口様にお願いしたい。

(委員) <承認>

(市民生活部長) それでは会長・副会長が選任されたので、議長の席をおりさせていただきます。

(会長) ○会長挨拶

昨年度は、効率的で持続可能な地域公共交通体制の構築のために見直しを行いました。将来に向けた運行計画を皆さんと協議していきたいと思いますのでご協力をお願いします。

(事務局) 議事に入らせていただく前に、資料の確認をお願いしたい。

資料は、会議次第、委員名簿、

資料 1 平成 28 年度デマンドバス利用状況等実績

資料 2 地域公共交通確保維持改善事業 〇です。

ここで議事に入る前に、議事録署名人を選任します。

名簿 N 03 番 山田様、名簿 N 08 番 稲見様のお二方をお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。

それではよろしくをお願いします。

(会長) それでは、議題にはいります。

議題 (1) デマンドバス利用状況等について事務局に説明をお願いします。

(事務局) 議題 (1) デマンドバス利用状況等について 事務局説明

(会長) ただいま説明があった利用状況・運行状況について、委員からご意見はありますか。

(委員) 確認したいのだが、2 ページの利用状況について、「ふれあいサロン 陽だまり」に参加するためにデマンドバスを利用していた方が、専用バスの設置により」、利用者が減ったとあるが、私の理解では専用バスの設置は 29 年度からなので、この文章はどのようなのだろうか、根本的に違うのではないのだろうか、ということを確認したい。

(事務局) ご質問のとおり専用バスの設置は確かに 29 年度からになるかと思う。減っている要因としては「陽だまり」の方が関連はしているのだが、当初まとまってご利用いただいていたのもあって、それで通常運行していた。ただ人数が多いということで、なかなか一般の方もご利用

用いただけないということもあったので、そのへんのところをお話しさせていただいて、少しずつ「陽だまり」利用の方が減ったような形になっている。現象としてはこれが夏7・8月からになっていて、少しずつ減っている形になりました。

(委員) 利用をセーブしたということか。

(事務局) はいそうです。

(会長) 他にありませんか。

(委員) 8ページの一人当たりの運行経費について、H23だけ3,954円と高かったのはなぜか。

(事務局) 平成23年度は11月から5か月間の運行だったので、期間が短かったために運行経費が高くなったと考えられます。

(会長) 他はいかがですか。

(委員) 1ページの登録者人数で、28年の縦の合計が3,557人になると思うのだが、というのが一つ。

もう一つ、「陽だまり」の方は登録者としては残っているのか。

(事務局) 登録としては残っています。

登録人数については、どこかのエリアで一人数字がずれているのだと思うので、確認します。申し訳ございません。

(会長) 他にありますか。

では、私から。7ページの平成29年度(計画)の人数は何の数字から算定していますか。

(事務局) 下野市地域公共交通総合連携計画中の「デマンドバスの年間利用者数数」の平成29年度の目標値から算出しました。

(事務局) 議題(2) 地域公共交通確保維持改善事業について 事務局説明

(委員) 資料1で説明のあった平成29年度の計画人数が35,400人で、定量的目標の年間利用者数が23,600人だが、この違いは何かあるのか。

(事務局) 定量的目標の年間利用者数は平成28年度の実績等で算出しました。

(委員) 実績等からの年間利用者数を算出したとの説明であるが、計画人数とあまり差をつけなくても良いと思いますが。

(事務局) 検討します。

(委員) 構成組織で名称の誤りが数か所見受けられるので修正願いたい。

(事務局) 申請時に訂正させていただきます。

【その他】

(委員) 本日の議題は利用状況や運行状況など数字的な報告であった。

デマンドバスが運行してから5年以上が経っているということなので、毎年のように課題等いろいろなことが見えてきていると思う。

利用状況等だけでなく、具体的な目標や改善案等がわかるようなものを示していただければ分かりやすいと思われる。

現状で良いわけではないと理解しているので、いろいろな視点から目標をもって説明できるのがよろしいかと思う。

今後、説明の中で、どうしたら利用者がふえる改善策やPR策等がわかるようなものを見せていただければと思う。

(事務局) 今後、会議資料の中でお示ししていきたいと考えています。

(委員) 乗継施設である市役所の庁舎内に待合用の長椅子があるが、外にも長椅子を置いてほしい。また、庁舎内の待合場所にいる時に職員と目が合ってしまうのが気になるので目隠し用の衝立を置いてほしい。

以上2点の要望を言付かってきたのでお願いしたい。

(事務局) 対処可能か庁舎管理の担当課に相談します。

(委員) 利用者を今後増やしていこうという話について、先日上三川町の会議に出席したのだが、上三川町では0～9歳、10～19歳の利用者が多い何故かという、小学校から塾へデマンドで行っているという人がここ数年で増えていて、利用者の増加につながっている。下野市でもそういう声があるのなら対応も可能なのかと思う。そういう声を拾うためにも、利用者と未登録者の方にアンケートをとって見たらどうか。参考までに。

(委員) 一市民として、まったくの消費者として思うのが、よくわからないということ。デマンドバスが運行していることは知っているが、登録や利用の方法等がわからない、もやもやの状態という方が多いのだと思う。そういう情報が行き渡っていないのだと思う。だから便利だということを知らなくて使わない方が結構いるのではないか。

(会長) 今後、PRの検討をしていった方が良いと思います。

(委員) 運転免許証の返納について少し話があったが、具体的にどういった対策を考えているのか。タクシーでは、自主返納割引という形で運賃一割引きということを長年やってきている。自治医大の例もあるのだから今後問題になっていくと思う。事故防止も考えてデマンドバスについても回数券を発行していく等の形で拡充していかないといけないと思う。その点を具体的に考えているのであれば教えていただきたい。

(事務局) 運転免許証自主返納支援はすでに実施しています。支援内容は昨年度まではおでかけ号の回数券のみであったが、今年度から選択肢を拡

充した。おでかけ号の回数券のほか、ゆうゆう館・ふれあい館の入浴券、きらら館のトレーニング室3ヶ月定期券、道の駅しもつけの商品券があります。おでかけ号回数券は一層のPRをしていきたいと考えます。

(委員) その商品券については足がなくなることの補助ということなので、タクシーに乗る場合にも使えるという話はないのですか。

(事務局) 商品券は「道の駅しもつけ」限定なので、他で使えるということはありません。

(委員) 足がなくなるということなので、その補助という点から考えれば、タクシーやバス等の公共交通機関の利用についてのものを助成するというのが趣旨としては合うのではないかと感じたので、参考までにお聞きした。

(会長) 他にご質問ありますか。

無いようなので、以上をもちまして、本日の議事は全て終了いたします。

皆様のご協力ありがとうございました。

(事務局) 委員の皆様には、長時間慎重審議ありがとうございました。

これをもちまして、第2回下野市地域公共交通会議を閉会します。

以上